

団体名： 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D 評価				今後の展開・改善点等		備考		
巡回・窓口相談指導事業	課題解決指導を最優先とし個々の事業所の経営能力のレベルアップをきめ細かく行っていき、また、それ以外で会員・非会員事業所を問わず巡回を行い会館所の諸施策の説明・指導を行う。その巡回で課題解決に誘導できるものは積極的に行う。	経営指導員個々が担当する業務の中で、担当業務での強みを活かした課題解決指導を行った。また、管内巡回指導を行うにあたり指導員ごとに担当地区を決め、地域内の小規模事業者の計画的な巡回を行った。 ・巡回窓口指導実企業数 経営指導員5人 974社 （非会員187社） ・巡回窓口指導延件数 経営指導員5人 342社 （非会員239社） ・課題解決提案件数 経営指導員5人 80社 ・経営革新承認件数 経営指導員5人 7件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 156.1%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 160.0%)		小規模事業者を直接訪問し経営指導員がその事業所の内容をよく把握し適切な経営指導が出来た。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標
				目標数値	1,500	実績数値	2,342	目標数値	50				実績数値	80	自己評価	調査結果	必要性	A
				目標数値	1,500	実績数値	2,342	目標数値	50	実績数値	80	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	実施方法	
				目標数値	1,500	実績数値	2,342	目標数値	50	実績数値	80	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	現状どおり	
記帳継続指導	小規模事業者を対象に日々の帳簿の付け方から、年末調整、決算書、確定申告書、消費税申告書の作成指導を行う。	・記帳継続指導 25事業所 ・記帳機械化指導 29事業所 ・指導延日数 230日 ・指導延回数 450回	小規模事業者及び税理士関係のない事業所	指標	記帳継続指導事業所数 (達成度 125.0%)		指標	記帳機械化指導事業所数 (達成度 103.6%)		記帳継続指導と機械化指導の対象者計54事業所について日々の記帳から決算、申告までの指導を行った。1事業所あたり3回以上対面形式で指導の作成などの問題について指導を行った。市内の小規模事業者に正しい記帳の仕方を指導し、レベルアップに寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	①上げる②現状維持 会計ソフトを使って記帳している事業所に対しても指導範囲を広げる。
				目標数値	20	実績数値	25	目標数値	28				実績数値	29	自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	20	実績数値	25	目標数値	28	実績数値	29	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	実施方法	
				目標数値	20	実績数値	25	目標数値	28	実績数値	29	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	現状どおり	
講習会等	・講習会 小規模事業者等に対して、必要な経営知識を提供し資質向上と経営体質の強化に資するために実施する。 「せと・しごと塾」 地域のニーズと課題をビジネスとして継続的に取り組む「地域ビジネス」の創業者瀬戸市内にて目指す方を対象に、地域ビジネスを創業者のために必要となる知識等を学べる機会を提供する事で、就業の1つである起業が創出させる環境づくりを図り、地域経済の発展に寄与する。	・講習会開催回数及び受講者数 集団 55回 554名 （内、経営革新 1回 9名） 個別 191回 241名 計 246回 795名 ・しごと塾 受講者数20名 開学 16日 18科目 51時間 実学 50回 150時間（1日3時間程度）	小規模事業者	指標	集団・個別 参加人数 (達成度 70.0%)		指標	せと・しごと塾 参加人数 (達成度 133.3%)		・集団・個別講習会を開催することにより小規模事業者が最新の知識を身につけ、経営体質強化を図ることができた。 ・しごと塾 独立開業予定の方が、基礎知識を身に付け、瀬戸市内にて創業される事により、市内の事業所数も増加し、「地域ビジネス」として起業する事により、地域貢献となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	①下げる②現状維持 瀬戸市と協力しながら事業を進める。地域ビジネス色の濃い内容は、市役所交流学芸に案内して、しごと塾は本格的な創業を目指す方の支援に特化する。
				目標数値	1,135	実績数値	795	目標数値	15				実績数値	20	自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	1,135	実績数値	795	目標数値	15	実績数値	20	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	実施方法	
				目標数値	1,135	実績数値	795	目標数値	15	実績数値	20	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	現状どおり	
若手後継者育成事業	企業経営者（後継者等）、企業経営に携わる女性に対して、研修会等を開催し企業経営者として研鑽を積み、当所事業活動に積極的に参加し、協力を進め地域内の商工業の振興を図る。	・青年部 勉強会1回 36名、会長研修会参加1回 3名 ・女性会 勉強会1回 23名、全国大会参加1回 3名 ・満足度調査 85%	小規模事業者等を中心とする青年部女性会会員	指標	勉強会・研修会参加人数 (達成度 110.7%)		指標	満足度調査 (達成度 121.4%)		青年部・女性会とも自己研鑽にこれからも務める。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	①下げる②現状維持 青年部・女性会とも自己研鑽にこれからも務める。
				目標数値	56	実績数値	62	目標数値	70				実績数値	85	自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	56	実績数値	62	目標数値	70	実績数値	85	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	実施方法	
				目標数値	56	実績数値	62	目標数値	70	実績数値	85	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	現状どおり	
地域産業祭事業	瀬戸市を代表する地場産業をPRする産業祭である「せともの祭」「せと陶祖まつり」を開催する。この「せともの祭」は直接的（販売市）な経済効果・間接的には全国的な知名度アップにつながる。	・せと陶祖まつり 4月15日（土）、16日（日） ・せともの祭 9月9日（土）、10日（日）	小規模事業者及び中小企業者	指標	せと陶祖まつり来場者数 (達成度 64.3%)		指標	せともの祭来場者数 (達成度 97.5%)		参加事業者の各店の活性化、市内産業観光に貢献した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	地場産業である陶磁器関連業種を支援していく大きなイベントであり、さらに内容を充実させていく必要がある。
				目標数値	70,000	実績数値	45,000	目標数値	400,000				実績数値	390,000	自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	70,000	実績数値	45,000	目標数値	400,000	実績数値	390,000	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	実施方法	
				目標数値	70,000	実績数値	45,000	目標数値	400,000	実績数値	390,000	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	現状どおり	
商店街振興事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元商店街が抱える様々な経営課題解決に向け、瀬戸市商店街連合会との協力的体制の下、地域の消費喚起などを図り、各種事業に取り組む。	・瀬戸市商店街連合会事業への協力 ・定例打合せ会 11回、各種会議等 2回	小規模事業者を中心とする市内商店街	指標	商店街活性化事業会議開催回数 (達成度 108.3%)		指標	視察研修会開催回数 (達成度 100.0%)		商店街並びに商店主の意識高揚につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	瀬戸市商店街連合会との連携により先進地視察等の事業を実施し商店街活性化に努める。
				目標数値	12	実績数値	13	目標数値	1				実績数値	1	自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	12	実績数値	13	目標数値	1	実績数値	1	自己評価	調査結果	必要性	B	目標	実施方法	
				目標数値	12	実績数値	13	目標数値	1	実績数値	1	自己評価	調査結果	必要性	B	目標	現状どおり	
情報収集提供事業	当所が発行する「会議所ニュース」「メールマガジン」により小規模施策・各種事業をPRし小規模事業者の各種制度等の利用を促す。また、全戸配布版の会議所ニュースにより会議所で行っている事業等を市民に周知することができた。	・会議所ニュース 年8回 ・メールマガジン 年24回	小規模事業者	指標	会議所ニュース発行回数 (達成度 100.0%)		指標	メールマガジン発行回数 (達成度 100.0%)		当所が発行する「会議所ニュース」「メールマガジン」により小規模施策・各種事業をPRし小規模事業者の各種制度等の利用を促す。また、全戸配布版の会議所ニュースにより会議所で行っている事業等を市民に周知することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	会議所事業の周知・PRをさらに積極的に行う。
				目標数値	8	実績数値	8	目標数値	24				実績数値	24	自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	8	実績数値	8	目標数値	24	実績数値	24	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	実施方法	
				目標数値	8	実績数値	8	目標数値	24	実績数値	24	自己評価	調査結果	必要性	A	目標	現状どおり	
商談会事業	・地域商談会（尾張会場） 瀬戸市内の中小・小規模企業者を中心とした企業が、受注機会の増大及び新規取引先の開拓を図るとともに、企業間の情報交換を通じ共同受注、共同開発、技術提携を促進することにより振興を図る。 ・アライアンス・パートナー 愛知県下の商工会議所（22商工会議所）の会員事業所に商談・PRの場を提供する。 ・企業お見合い、「き」業展 当市及び多治見市周辺の商工会議所・商工会に会員事業所の商談・PRの場を提供する。	・地域商談会（尾張会場） 開催日 平成29年6月15日（木） 商談会場 小牧勤労センター 参加企業2社 ・アライアンス・パートナー 商談期間 平成29年6月19日（月）～6月23日（金） 商談会場 名古屋商工会議所 3企業がエントリー ・企業お見合い 商談期間 平成29年10月27日（金） 商談会場 多治見市産業文化センター 参加企業1社 ・「き」業展 商談期間 平成30年2月2日（金）、3日（土） 商談会場 セラミックパークMINO 参加企業0社	小規模事業者及び中小企業者	指標	参加企業数 (達成度 50.0%)		指標	（達成度 %）		・地域商談会（尾張会場） 下瀬中小・小規模企業者の受注機会の増大及び新規取引の開拓をすることにより振興を図ることができた。 ・アライアンス・パートナー 愛知県下の各地事業者の取引機会を増やすことができた。 ・企業お見合い、「き」業展 事業者の取引機会を増やすことができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	・地域商談会（尾張会場） 地域の参加企業が増えるようにPRを積極的に行っていた。 ・アライアンス・パートナー 商談の機会を設けるイベントとして非常に意義がある。PR方法を検討して参加数を増やしていきたい。 ・企業お見合い 「き」業展 PRを積極的に行い参加者を募る。
				目標数値	12	実績数値	6	目標数値					実績数値		自己評価	調査結果	必要性	
				目標数値	12	実績数値	6	目標数値		実績数値		自己評価	調査結果	必要性	B	目標	実施方法	
				目標数値	12	実績数値	6	目標数値		実績数値		自己評価	調査結果	必要性	B	目標	現状どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考			
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法				
異業種交流事業	異業種交流グループは参加各事業所が自主的かつ自由な異業種間の交流活動を通して各々の潜在能力を啓発するとともに、共同研究及び共同開発を行うことにより、技術力及び経営力の向上を図り、又は新しい事業活動を創出することにより、参加企業の発展と地域の振興に資することを目的とする。	・第1回例会（視察研修）平成29年8月23日（水）視察先「ミツカンミュージアム」参加者17名 ・第2回例会（視察研修）平成29年11月8日（水）視察先「メッセナゴヤ2017」参加者15名	中小・小規模事業者を中心とする異業種交流グループ会員50事業所	指標	例会開催回数 (達成度 50.0%)		指標	(達成度 %)		会員企業への情報提供や研修・勉強会を通して、自主的かつ自由に交流活動を啓発し、お互いの潜在能力を啓発し、会員企業が新しい事業を創造し、更なる発展をとり、企業経営の一助となった。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標
				目標数値	4	実績数値	2	目標数値	実績数値					A	A	必要性	A	下げる	実施方法
調査・広報事業	全国の中小企業・小規模事業者の状況について調査を実施する。	・L O B O調査（3組）に対し、調査6項目並びにその時期ごとに付帯調査項目2～3について、前年対比並びに向こう3ヶ月の見通しや当面の経営上の問題等について調査を行い、日本商工会議所へ報告を行った。 ・景況調査 四半期ごとにモニター50社に対し売上等の調査項目並びに新規設備投資の予定、直面している経営上の問題点等について調査を行い、日本商工会議所へ報告を行った。	小規模事業者を中心とする管内事業所	指標	延調査件数（L O B O調査） (達成度 100.0%)		指標	延調査件数（景況調査） (達成度 100.0%)		瀬戸市内の業界・業種ごとの企業の景気動向を把握し、日本商工会議所へ調査報告を行うことにより、全国各地域の景気動向を確認、把握することができ、企業経営の一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	①下げる②現状維持 ・L O B O（早期景気観測）調査 毎月の調査をモニター（3）に対して確実に、指定された期日に実施する。 ・景況調査 四半期ごとの調査をモニター（50）に対して確実に、指定された期日に実施する。
				目標数値	36	実績数値	36	目標数値	200					実績数値	200	A	A	必要性	
雇用促進事業	管内の企業が必要とする労働力の維持確保及び従業員の福祉と定着をはかり、もって産業経済の発展に寄与することを目的とする。	・高等学校進路指導担当教諭対象の地元企業見学会 5月30日（火）24校24名 ・高等学校進路指導担当教諭と事業所との意見交流会 5月30日（火）高校25校25名、企業36社48名、行政等6名、計79名 ・管内中学・高等学校進路担当教諭との打合せ会 ・求人説明会 5月26日（金）90社90名 ・就職フェア 8月24日（木）211名（一般181名、学生30名）	中小・小規模事業者を中心とした管内企業	指標	意見交換会参加者数 (達成度 158.0%)		指標	就職フェア来場者数 (達成度 140.7%)		中小・小規模事業者が必要とする労働力の維持確保に貢献することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	・意見交換会については、情報交換の場として参加していただけたよう積極的に参加要請していききたい。 ・就職フェアについては、企業説明会等を含め開催回数を増やし、雇用機会を創出することにより、地元企業の雇用を支援する。
				目標数値	50	実績数値	79	目標数値	150					実績数値	211	A	A	必要性	
人材育成事業	・簿記、珠算、IT-マーケティング（販売士）、環境社会（eco）検定各種検定試験は会社運営や仕事上の基礎能力の向上に寄与する。 ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会管内の企業が必要とする労働力の維持確保及び従業員の福祉と定着をはかり、もって産業経済の発展に寄与することを目的とする。	・簿記、珠算、IT-マーケティング（販売士）、環境社会（eco）検定 簿記 6月11日（日）、11月19日（日）、2月25日（日）、10月22日（日）、2月11日（日） IT-マーケティング（販売士） 7月8日（土）、2月21日（水） 環境社会（eco） 7月23日（日）、12月17日（日） ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会 ①ビジネスマナーセミナー 4月6日（月）41名 ②労働講座 10月24日（火）17名	小規模事業者及び中小企業者及びその社員、市民	指標	各種検定実施回数 (達成度 100.0%)		指標	ビジネスマナーセミナー・労働講座受講者数 (達成度 72.5%)		・簿記、珠算、IT-マーケティング（販売士）、環境社会検定 市内小規模事業者等の事業主、従業員、将来を担う学生・生徒・児童の各種能力アップにつながった。 ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会 企業が必要とする従業員のスキルアップ等により、経営体質の強化を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	・各種検定受検者を増やし事業者の能力アップを図る。 検定の内容等についてPRして行く。 ・ビジネスマナーセミナーについては、対象者を新入社員に限らず受講者を増やす。 労働講座についても、状況に応じたタイムリーな内容で受講者を増やす。
				目標数値	10	実績数値	10	目標数値	80					実績数値	58	A	A	必要性	
青年部・女性会事業	企業経営者（後継者等）、企業経営に携わる女性に対して、研修会等を開催し企業経営者として研鑽をつみ、当所事業活動に積極的に参加、協力を通じ地域内の商工業の振興を図る。	・青年部 総会3回、役員会等25回、例会5回、その他（委員会等）45回 ・女性会 総会1回、役員会等12回、例会9回、その他（委員会等）16回	小規模事業者等を中心とする青年部72名、女性会39名	指標	青年部会議開催回数 (達成度 101.3%)		指標	女性会議開催回数 (達成度 95.0%)		総会、役員会、地域振興事業等へ参加することにより、組織運営等の手法を学び、各事業を実施する過程として企画から実現までを経験できた。この経験は、自社の経営力向上等に生かすことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	事業内容等について大きな内容の変更はないが会員の地元貢献・自己研鑽の意識向上に努める。
				目標数値	77	実績数値	78	目標数値	40					実績数値	38	A	A	必要性	
部会・委員会事業	7部会（陶磁器・商業・建設・工業・窯業原料・サービス業・金融）4委員会（工業・商業・総務・産業観光）の開催により所属部会・委員会の小規模事業者のきめ細かいニーズの把握や発展を図る。	・部会 17回 ・委員会 1回	小規模事業者	指標	部会・委員会開催回数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		相互情報交換が可能となり、直面する経済環境対応事業実施にあり、スムーズな運営を図ることができた。また、事務局として市内事業所の各種ニーズ把握の場となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	さらに充実した事業内容にするためよく検討する。
				目標数値	18	実績数値	18	目標数値	実績数値					A	A	必要性	A	実施方法	
福利厚生事業	中小・小規模企業の福利厚生が不十分であることが多いため、従業員の雇用継続の一助となるべく共済制度を普及推進する。	巡回・窓口・講習会等で各種共済制度の普及を推進し、加入を促進した。共済加入事業所総数711社	小規模事業者及び中小企業者	指標	共済加入事業所総数 (達成度 94.8%)		指標	(達成度 %)		市内小規模事業者等の事業主、従業員等への福利厚生の一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	積極的に加入促進を図っていく。
				目標数値	750	実績数値	711	目標数値	実績数値					A	B	必要性	A	上げる	
産業団体等指導事業	・瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議 瀬戸市が開催している瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議のメンバー（幹事）として会議に出席。環境に関する情報を得る。 ・愛知県経営者協会瀬戸支部 管内の中小・小規模企業の経営者及び人事・労務管理者に対して人事労務問題に関する最新の情報を提供し、企業の人材育成を支援する。	・瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議 会員数56社 瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議幹事会、総会等への参加環境に関する事業者への参加「環境にやさしい事業所認定制度」の周知 ・愛知県経営者協会瀬戸支部 管内の中小・小規模事業者協会瀬戸支部例会 6回（5・7・9・11・1・3月）	小規模事業者及び中小企業者	指標	瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議 (達成度 101.8%)		指標	愛知県経営者協会瀬戸支部支部例会開催回数 (達成度 100.0%)		・瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議 環境に関する多くの情報を得ることができ、当所が実施する事業等を紹介する場所ともなり事業者の意見等を開ける機会ともなった。 ・愛知県経営者協会瀬戸支部 企業の人事労務管理の参考資料の提供や情報交換により経営強化を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	・瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議 瀬戸市の環境問題に関する会議に出席し市内事業者の指導の一環とする。来年度も同様に委員会に参加する。 ・愛知県経営者協会瀬戸支部 今後とも企業のニーズに即した人事労務問題の最新情報や解決のアドバイスを提供していく。
				目標数値	55	実績数値	56	目標数値	6					実績数値	6	A	A	必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。